

# FY2020.8 1Q 決算説明資料



株式会社農業総合研究所  
Nousouken Corporation

<証券コード：3541>

- 1. FY2020.8 業績報告**
- 2. FY2020.8 計画の進捗**
- 3. Topics**
- 4. Appendix**

# FY2020.8 1Q 業績報告

台風15号、19号、21号等の災害を受け、当社主要拠点のひとつである千葉県内集荷場の出荷量が落ち込むも、他産地からの供給により流通総額は計画どおりの進捗  
KPIの堅調な増加に加え、活動計画を順調に始動し、下期および来期以降の足固めを進める

## KPI動向



## 業績動向



\*流通総額：スーパー等において最終消費者に購入いただいた最終販売価格の総計

## 活動計画の進捗

相場変動に関係なく利益水準を維持できる仕組みの確立



**バラ出荷方式の  
試験運用を実施**



**大阪摂津物流センター  
の本格稼働を開始**



**手数料変更は2月以降  
に説明会を企画**

# FY2020.8 1Q 業績総括

台風等の影響を受け出荷量が落ち込むも、流通総額は計画通り進捗し、経常利益を確保

※FY2020.8\_1Qより単体決算に移行しております

【参考値】




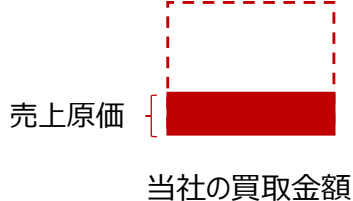

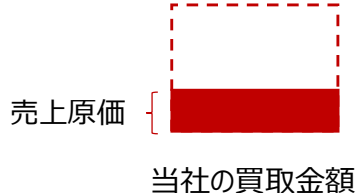
単位：百万円	FY2020.8 単体実績		FY2020.8計画	
	1Q累計	対売上高比	年度計画進捗	4Q累計
流通総額	2,469		23.5%	10,500
売上高	695		21.7%	3,200
委託販売	376			
買取委託	266			
卸販売	17			
その他	34			
子会社				
売上総利益	461	66.3%		
委託販売	376	100.0%		
買取委託	55	20.8%		
卸販売	3	18.1%		
その他	26	75.2%		
子会社				
販売管理費	458	65.9%		
営業利益	2	0.4%	4.8%	60
経常利益	6	1.0%	11.2%	60

流通総額に対する  
売上総利益率  
…18.7%

FY2019.8 連結実績	
1Q累計	対売上高比
2,437	
810	
403	
271	
9	
29	
96	
503	62.1%
403	100.0%
46	17.0%
1	18.1%
24	83.0%
27	28.7%
503	62.1%
0	0.0%
2	0.3%

流通総額に対する  
売上総利益率  
…20.6%

# (補足) セグメント別の会計方針

	会 計 方 針	売 上 高	売 上 原 価
<b>委託販売</b>	スーパー等の直売コーナーで委託販売を行う流通プラットフォームを提供。流通総額のうち、当社手数料部分を売上高に計上し、原則売上原価の計上なし。		
<b>買取委託</b>	当社が農産物を買取り、スーパー等で委託販売を実施。そのため当社が在庫リスクを負う。消費者の需要を見越した値付けにより、少ないロス率が特徴。流通総額のうち、スーパー等の販売手数料を差し引いた金額を売上高に計上し、買取仕入高を売上原価に計上。		
<b>卸販売</b>	当社が農産物を買取り、スーパー等へ販売を行う、通常の仕入れ販売。スーパー等へ販売した金額を売上高に計上し、買取仕入高を売上原価に計上。		

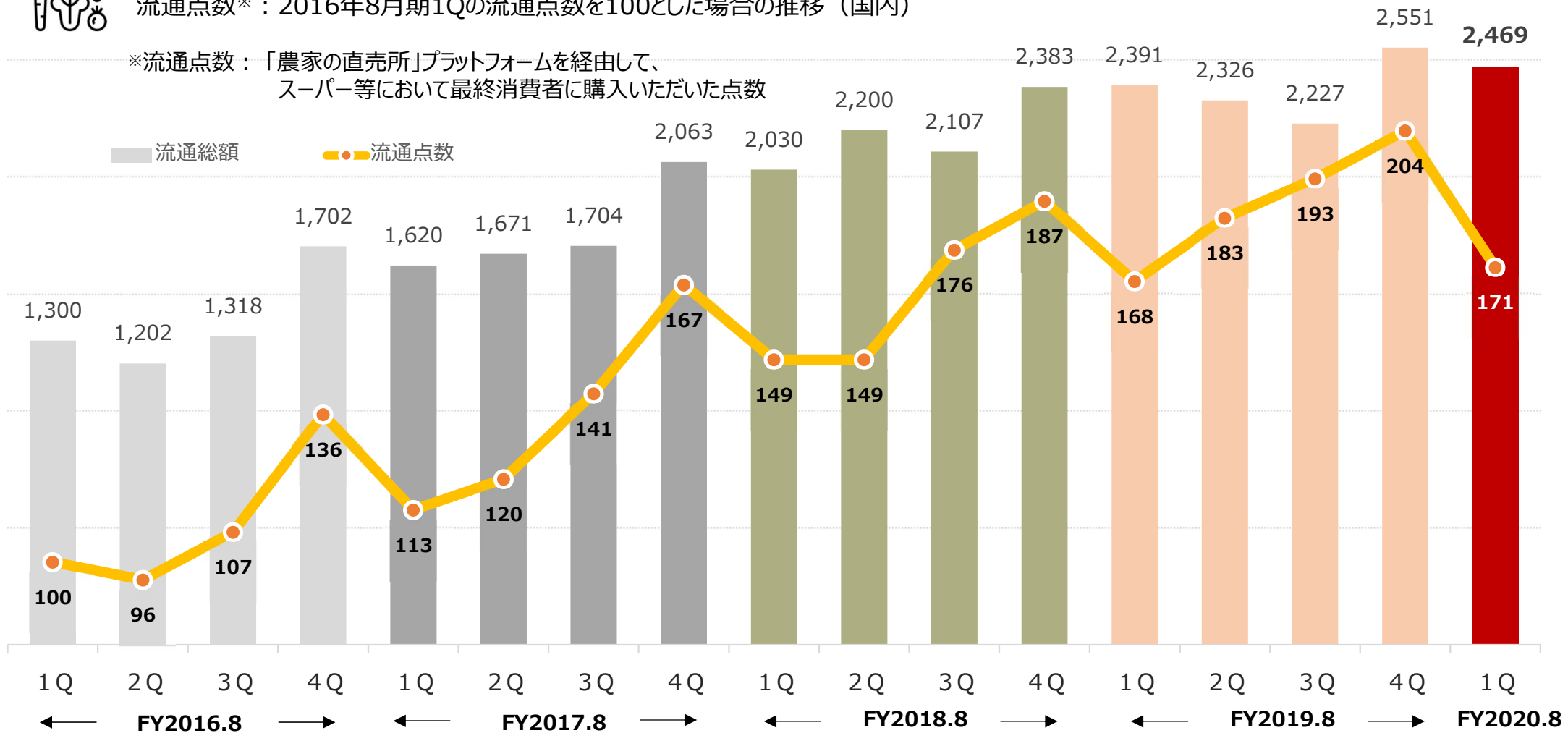
# 経営指標：流通総額

度重なる台風等により物量減になるも、昨年同期比で流通額・点数ともに成長をキープ



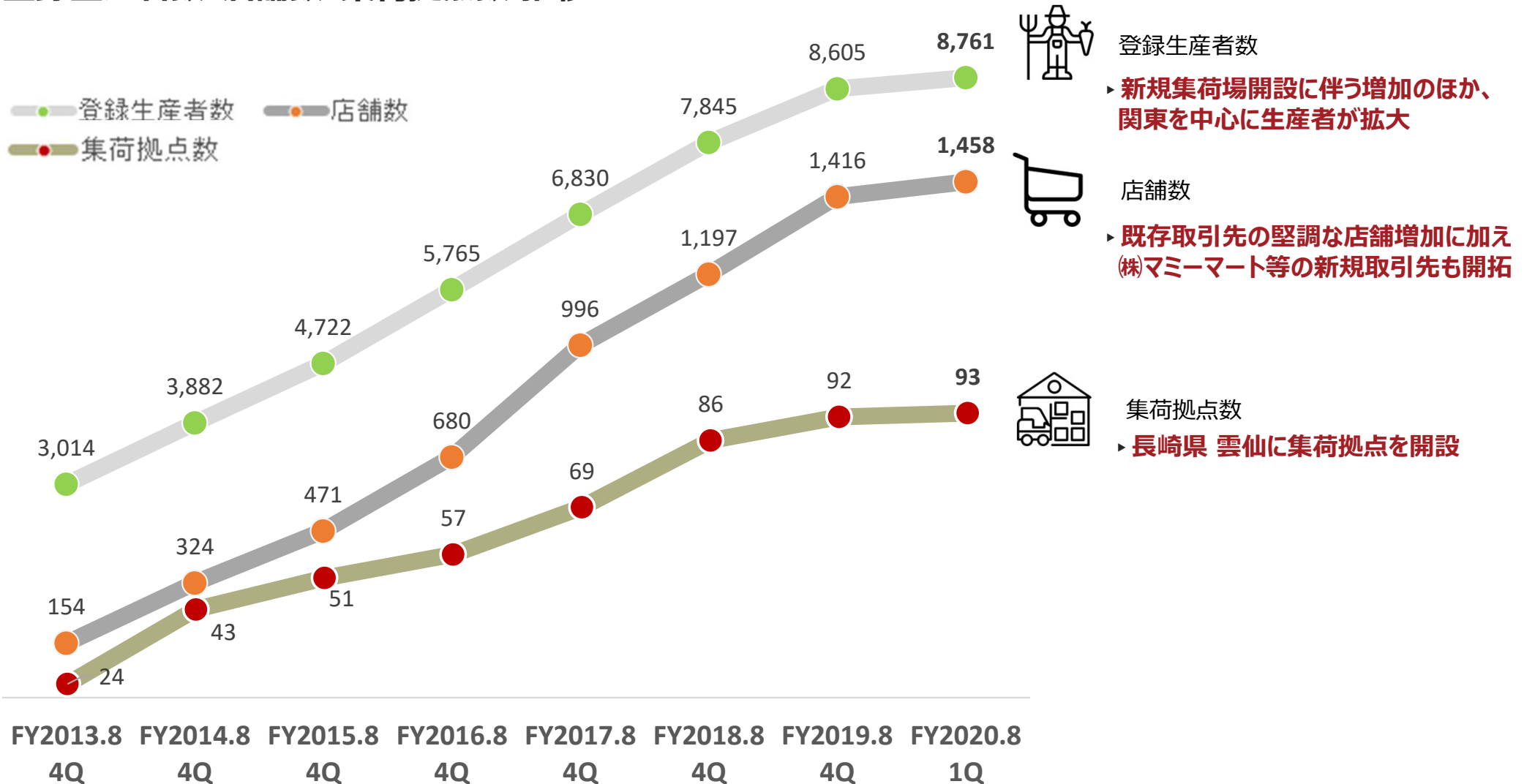
流通額：百万円  
流通点数※：2016年8月期1Qの流通点数を100とした場合の推移（国内）

※流通点数：「農家の直売所」プラットフォームを經由して、スーパー等において最終消費者に購入いただいた点数



# 経営指標：生産者数・店舗数・集荷拠点数

## 登録生産者数・店舗数・集荷拠点数 推移







# FY2020.8 計画の進捗

## FY2020.8 活動計画

### 相場変動に関係なく利益水準を維持できる仕組みの確立

#### 設定計画

#### 1Q進捗

- |          |                            |   |  |
|----------|----------------------------|---|--|
| <b>1</b> | <b>出荷手数料を料率負担から個建負担に変更</b> |    | <b>✓ 翌期首からの変更に向け、2月より説明会を企画</b>                      |
| <b>2</b> | <b>バラ出荷方式の導入と業務受託の本格開始</b> |  | <b>✓ 千葉県内集荷場にて試験運用実施</b><br><b>✓ 大阪摂津物流センターの本格稼働</b> |

## 10月より、千葉県内集荷場で試験運用開始

当社で商品振分を行うことにより、コンテナ当たりの販売額やアイテム数を伸ばし、物流コストの削減効果も確認



コンテナ当たり販売額  
(前年同月比) **20%アップ**

物流費&コンテナ費用  
(前年同月比) **15%削減**

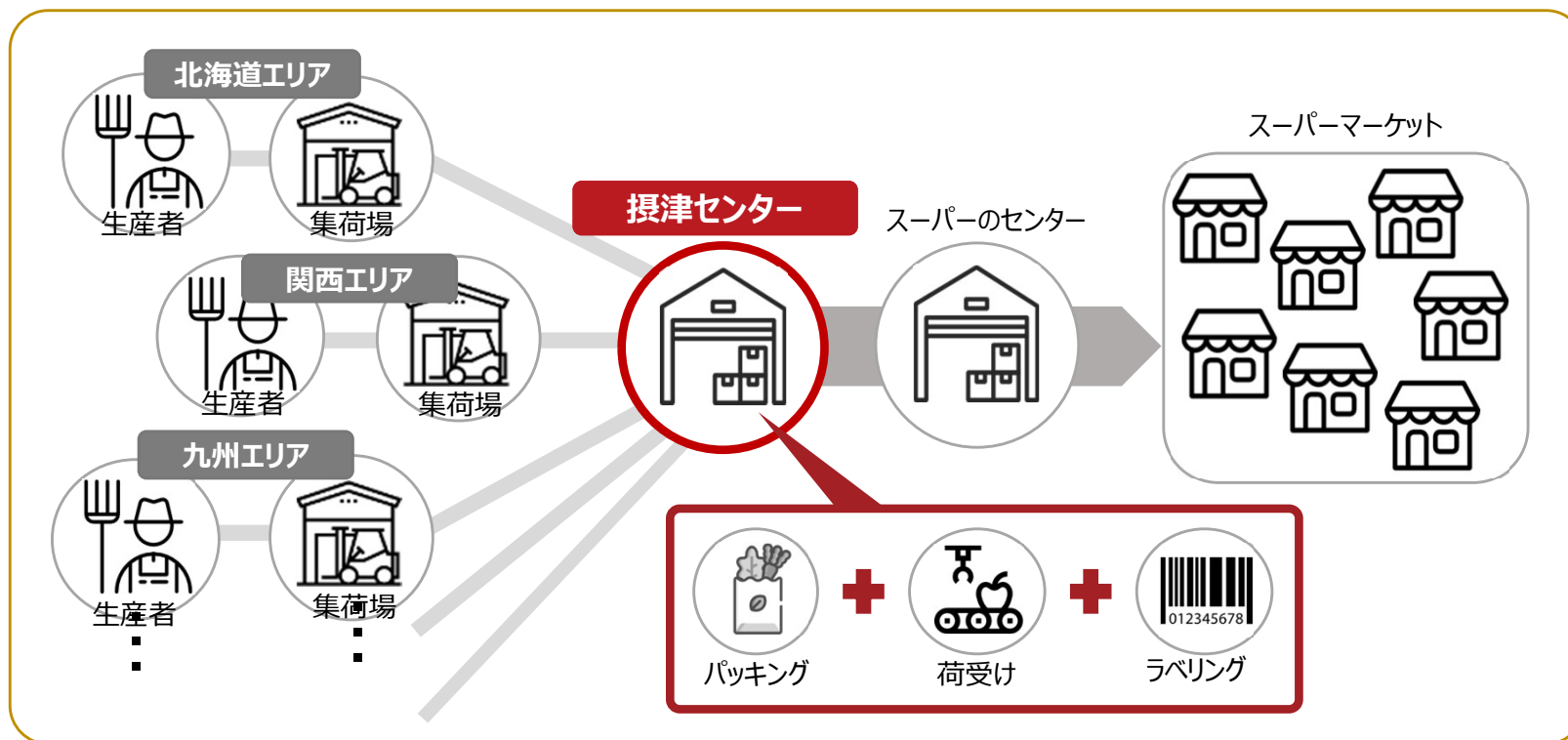
本格運用に向け、  
オペレーション構築中

※バラ出荷方式

これまで生産者が行う必要のあった、袋詰め・シール貼り・商品振分を当社に委託できる、さらに自由度の高い出荷方式

遠方産地からの農産物供給増加にも対応できる体制を整備し、拠点間物流を強化

今後は商品のパッキング（袋詰め）やバーコードシール貼付等の加工作業も行い、生産者の作業負担を減らすことで、流通総額のさらなる拡大と成長スピードを加速



■稼働場所：大阪府摂津市鳥飼中 ■取扱規模：日量 5,000～6,000 コンテナ ■取扱品目：野菜・果物全般、コメ（予定）

# TOPICS

## 業務提携の目的

### 野菜・果物の取扱量拡大

神明グループは、東果大阪株式会社、大同印岡山大同青果株式会社、株式会社成田市場青果等中心とした野菜・果物の強い集荷インフラを保有し、農総研は海外市場を含む、野菜・果物の幅広い販売網を構築

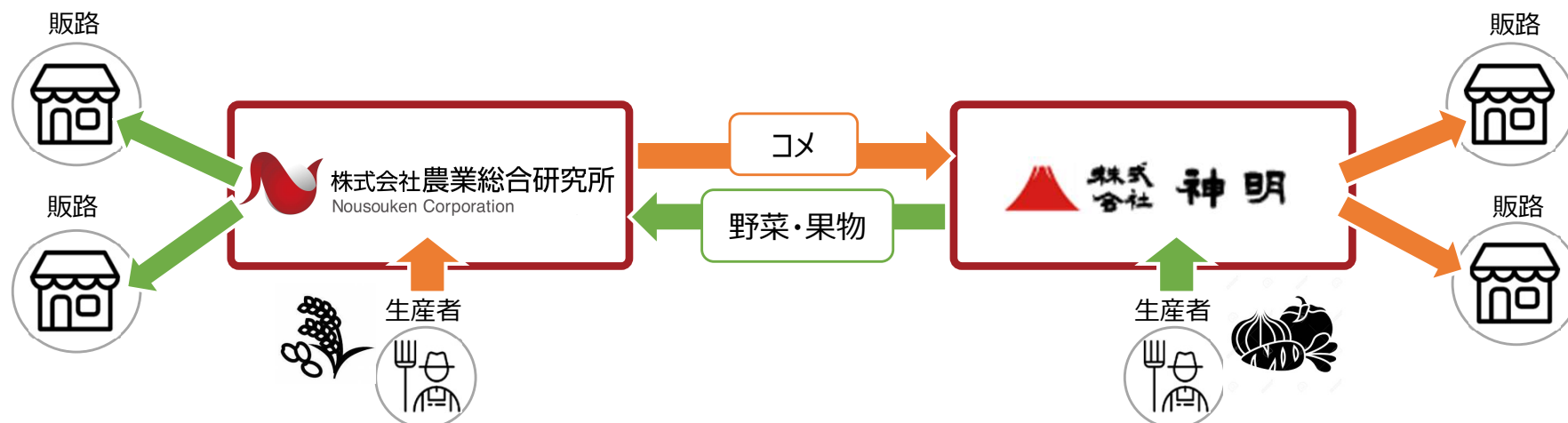
これら両者のインフラを相互利用することで、野菜・果物の取扱量拡大を目指す

### コメの集荷ビジネスの協働

神明グループは、コメ流通において広範囲にわたる販売網を構築し、農総研は野菜と果物を中心に集荷する全国93箇所の集荷場を展開

農総研が集荷場でコメの集荷を開始し、神明の販売網を利用することで、コメの流通量拡大を推進

## スキーム図



## 業務提携の目的

せっかく鮮度のよい野菜なんだから・・・

「どのように食べたらいいの？」「おすすめのレシピは？」「農家さんの食べ方は？」

生活者から多く寄せられる、このような声にお応えするため・・・

国内 No.1 レシピ動画サービス  kurashiru とのタイアップ企画を実現

## 商品イメージ



- ✓ これまでは、レシピ内容や商品にレシピを付けるかどうかの判断は生産者任せだったため、限定的な展開だった
- ✓ 他方、実際に商品にレシピを付けると、販売率が上がる傾向を確認

本タイアップにより、販売促進を強化

# Appendix

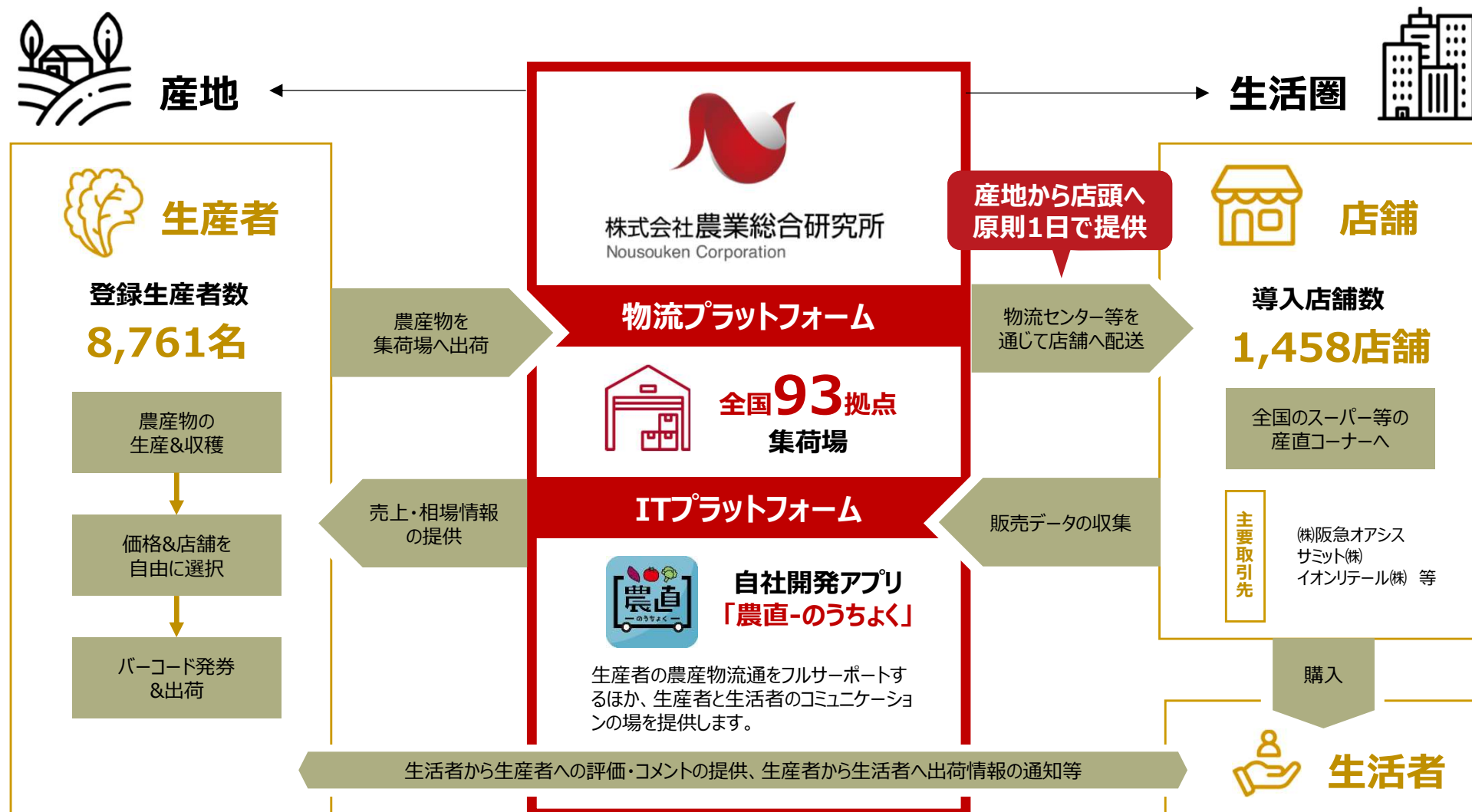


# 会社概要 (2019年11月現在)

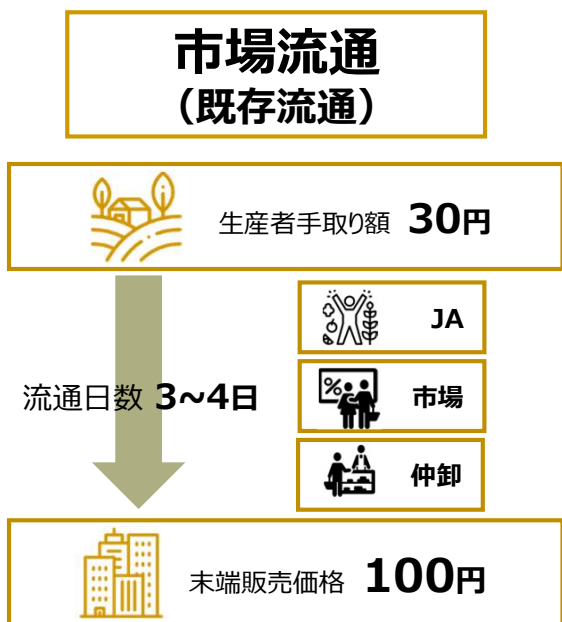
社名	株式会社 農業総合研究所
設立	2007（平成19）年10月25日
代表者	代表取締役会長CEO 及川 智正 代表取締役社長 堀内 寛
本社	和歌山県和歌山市黒田17番地4
資本金	212百万円
主な事業内容	「農家の直売所」事業（委託販売システム・買取委託販売・卸販売）
従業員数	186名（役員・パート含む）
上場市場	東証マザーズ（証券コード：3541）
経営目標	持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする
経営方針	ビジネスとして魅力ある農産業の確立

# 「農家の直売所」について

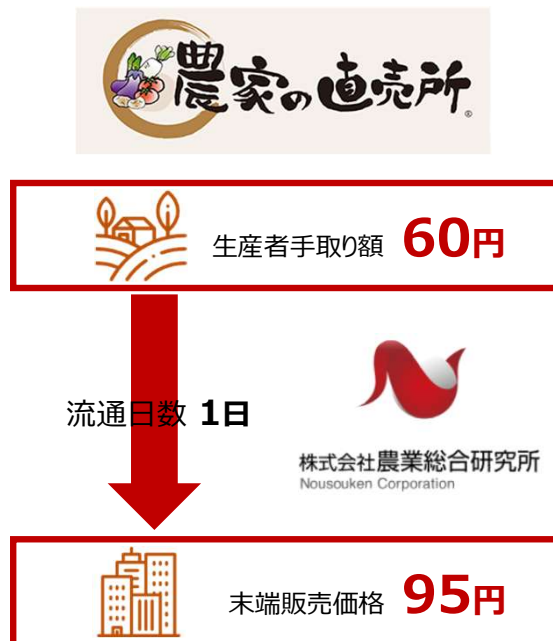
## 「物流」×「IT」新しい農産物流通プラットフォーム



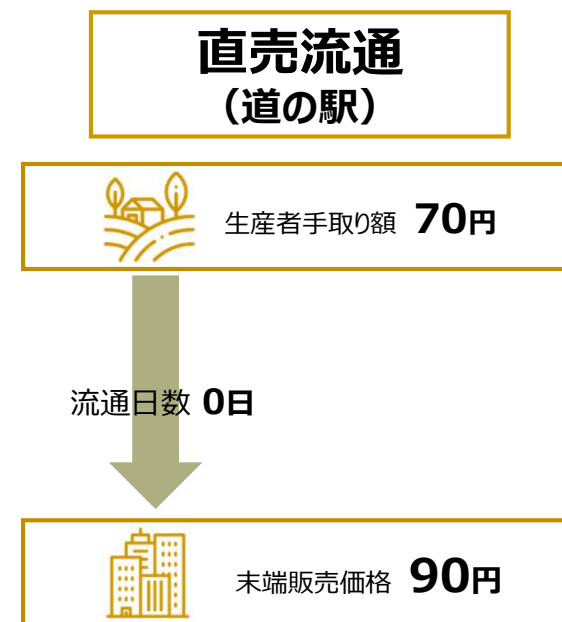
## 市場流通と直売流通の中間となる「農家の直売所」



- 流通販売量
- 安定供給量
- 出荷作業量
- 流通自由度
- 生産者収益
- 情報伝達量



- 流通販売量
- 安定供給量
- 出荷作業量
- 流通自由度
- 生産者収益
- 情報伝達量



- 流通販売量
- 安定供給量
- 出荷作業量
- 流通自由度
- 生産者収益
- 情報伝達量

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

FY2020.8の予想値につきましては、新たに算出した予想値または決算において差異が生じ、当該差異が開示基準に該当する場合は、速やかに開示をいたします。

## 本発表に関するお問合せ

株式会社農業総合研究所 IR担当  
TEL : 03-6417-1047 Mail : ir@nousouken.co.jp